

2017.3.7 制定

2018.9.20 改訂

安全データシート

1 [化学物質等及び会社情報]

製品名 ハッコウウィック
No.FR150-81,-82,-83,-84,-85,-86

会社名 : 白光株式会社
住所 : 大阪市浪速区塩草2丁目4番5号
担当部門 : R&D センター

緊急連絡先・問い合わせ先
品質保証環境室
T E L : 06-6561-1574
F A X : 06-6568-0821

2 [危険有害性の要約]

GHS 分類

健康に対する有害性

ロジン : 急性毒性 (吸入: 粉じん) 区分 4

ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : 吸入すると有害 (粉じん)

安全対策	:	はんだ付け用途以外には使用しないこと 使用する時には、飲食、喫煙をしないこと
------	---	---

		食事前、作業終了後には手洗いをを行うこと 保護手袋、保護眼鏡を着用すること 個人用保護具や換気装置を使用し、暴露を避けること 粉じんを吸入しないこと はんだ付け時に皮膚への接触やガスの吸入を避けること 環境への放出を避けること
応急措置	:	吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息をさせる。 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
保管	:	換気の良い場所で保管する。
廃棄	:	内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3 [組成・成分情報]

含有成分	フラックス	銅
	ロジン	—
含有量	<5%	>95%
化学式	—	Cu
官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	非公開	—
C A S - N o .	非公開	7440-50-8
国連分類	—	—
国連番号	—	—

※含有ロジンがアレルギー反応を引き起こすことがあるが、危険な成分は含まれていない。

4 [応急措置]

- 目に入った場合 : 目をこすったり、眼を閉じさせてはならない。
異物を取り除き流水で洗浄し、直眼科医の手当を受ける。
- 皮膚に触れた場合 : 皮膚に触れても障害はないが、炎症を起す場合がある。
- 飲み込んだ場合 : 可能であれば吐き出させ、医師の手当を受ける。
- 加熱状態で触れた場合 : 水で洗浄した後に、火傷に対する処置を行なう。

5 [火災時の措置]

- 消火方法 : 消火時、水は使用せずに、下記の消火剤を使用する。
消化剤 : 二酸化炭素泡沫または砂及び土を使用する。
-

6 [漏出時の措置]

掃き集め、燃えないごみとして処理する。

7 [取扱い保管]

- 取扱い : 換気のよい場所で使用のこと、そうでない場合は局所排気装置を設置
保管 : 常温で保管し直射日光を避け、高温物を近づけない。
-

8 [暴露防止及び保護措置]

- 許容濃度 : 情報なし
設備対策 : 局所排気
保護具 呼吸用保護具 : 不要
保護眼鏡 : 短く切断する場合には、目の防具を着用
保護手袋 : ロジンにより皮膚に炎症を起す場合には、手袋を着用
保護衣 : 不要
-

9 [物理的及び化学的性質]

- 外観 : ロジンでコーティングされた銅編線
揮発性 : なし。
発火点 : 情報なし
安定性 : 安定
反応性 : 安定
溶解性 : ロジンは、水に対しては不溶。アルコール等芳香族溶剤に対しては一部溶解。
-

10 [安定性及び反応性]

- 引火点 : 情報なし
発火点 : 情報なし

可燃性： 情報なし

自然発火性： 情報なし

酸化性： 湿潤条件下に長時間放置すると、銅は酸化することがある。

1.1 [有害性情報] 特に皮膚を刺激することはないが、含有するロジンによりアレルギー反応を引き起こすことがある。

急性毒性 : ロジン :
吸入 (粉じん) ラット LC50(6 時間)値 約
1.5mg/L
(4 時間換算値 : 約
2.3mg/L)

(IUCLID, 2000) に基づき、区分4とした。なお、蒸気圧データは無いが、固体であり蒸気圧が <0.1hPa (IUCLID 2000) と記載されていることから粉じんと判断した。

1.2 [環境影響情報]

分解性： 情報なし

蓄積性： 情報なし

魚毒性： 情報なし

1.3 [廃棄上の注意]

地域の規制に従うこと。

廃棄されるウイックには、はんだが含まれており、はんだはその環境条件により溶出する可能性がありますので、注意することが必要です。

1.4 [輸送上の注意]

一般的な注意事項を遵守すること。

15 [適用法令]

PRTR 法 : 該当なし

(ロジンについて)

消防法 : 第9条の3施工令 別表第4指定可燃物
可燃性固体類 (3000kg)

16 [その他の情報]

参考文献 13700の化学商品
メーカーのMSDS

本データは現時点で入手できる情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

記載内容は通常の使用状態におけるものであり、危険有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、使用におかれましては、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご使用下さい。